令和6年度　校内研究について

1．研究テーマ

研究テーマ
見通しをもち、粘り強く学習する力を育む授業づくり

令和元年度～4年度までの研究（生活科・総合的な学習の時間）を経て、子ども同士の「対話的な学び」については質の高まりが見られるようになってきた。一方で、自立的に学習を進めていく「主体的な学び」については、本校の課題となっている。

「主体的な学び」とは「学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」ことだと、文部科学省は定義している。

学習の場面で、どのような状態が主体的に学んでいることを指すのかをまとめると以下の 5 つの要素となる。

①興味関心（積極性）
②**見通し（計画性）**
③自己との関連付け（自覚）
④**粘り強さ（自己調整力）**
⑤振り返り（意味づけ・共有）

※**太字**が、今年度の研究を通して本校の子ども達に身に付けさせたい要素であり、令和6年度校内研究テーマ「見通しをもち、粘り強く学習する力を育む授業づくり」につながるものである。子どもの資質・能力を育て、授業の質を高めていけるように研究を推進していく。

2．目指す子どもの姿

各学年でめざす子ども像

	令和6年度
個別	やってみよう、そしてひろげよう！を実現する子
低学年	単元で身に付けたい力を意識して学び、学習を振り返られる子
中学年	学習のめあてを明確にもち、その実現に向けてよりよいものを求め続ける子
高学年	ふりかえりから課題を見つけ、自ら学びを続ける子